

「のぞみ4号（弊社所属車両）」の車両不具合について

2023年2月23日、東海道新幹線 新横浜駅構内で発生した当社所属車両の不具合により、新幹線をご利用のお客様にご迷惑をおかけしましたこととお詫び申し上げます。

1. 発生日時

2023年2月23日（木）11時14分頃

2. 発生場所

東海道新幹線 新横浜駅構内

3. 列車名

のぞみ4号（N700系16両編成）

博多駅（6時39分）発 東京駅（11時36分）着、ご乗車のお客様：約850名

4. 概況

11時14分頃、新横浜駅に入駅中の「のぞみ4号」の運転台モニターに異常表示（バランス異常）を認め、停止しました。乗務員および検修係員が点検したところ、台車枠の外観上に亀裂等がないことを確認しました。当該列車は新横浜駅～東京駅間の運転を取りやめ、「のぞみ4号」にご乗車中のお客様は、後続列車にお乗り換えいただきました。当該車両は、その後車両所へ回送し、詳細調査を実施しました。

<付記>

「バランス異常」とは、1両に4か所ある空気ばねの圧力バランスに異常がある状態です。2017年12月に発生させた新幹線重大インシデントにより、台車枠に亀裂が入った際にバランス異常が発生するという知見を得たため、その異常を検知する機能を整備しました。

5 調査結果

車両所での点検においても、台車枠の亀裂など新幹線の走行安全上の重大な不具合は認められませんでした。

その他の装置を調査した結果、2月21日に、博多総合車両所にて「自動高さ調整装置」を取替え後に必要なソフトウェアのリセット作業を失念していたことが原因であると判明しました。

<付記>

「自動高さ調整装置」とは、走行中の車体重量変化に応じて、自動的に空気ばねへ空気を供給または排気する部品で、車体の高さを一定に保つ機能を有しています。なお「自動高さ調整装置」は正常に動作しておりました。

6 対策

「自動高さ調整装置」を取替え後に、ソフトウェアのリセット作業を確実に実施し、取替えとリセット作業が両方完了したことを確認した上で運用に充当する仕組みを構築します。